

第6回 「-世界中に日本光電製品を届けたい- 海外生産現場のモノづくりへの思い」

日本光電では、自社生産にこだわり、高い品質と安全性を備えた医療機器を世界中の医療現場にお届けするため、海外に6か所の生産拠点を設けています。今回は、海外生産のメイン拠点である上海光電医用電子機器において日々フル稼働する生産現場をまとめる生産統括部門の社員をご紹介します。



～日本光電の海外戦略を支える生産拠点の一員として～

グローバル市場の中でも成長著しい新興国市場においては、「安くても品質の良い製品」が求められます。

上海光電は1990年2月の設立以降、中国および新興国市場向けに、心電計、生体情報モニタ、検体検査装置などの普及機や試薬を生産してきました。そして近年、その役割はさらに大きくなっています。当上半期には、上海光電で開発・生産した心電計ECG-3150が新興国市場で発売となりました(中国向けは製品登録中)。中国市場に向けては、新たに除細動器とAEDの現地生産を開始しました。日本光電の製品を世界中にお届けするために、一人ひとりが「世界に誇れる医療機器をつくる」という責任と使命感を持って、モノづくりに取り組んでいます。

■生産拠点と各拠点の主な生産品目



現場の声

上海光電生産部門は「品質の安定した高付加価値製品をタイムリーに提供する」ことを基本方針に掲げ、生産品の品質向上と全体最適を図ったコスト削減に努めています。

私はモノづくり現場の司令塔として、より安定した生産品質を実現するため、資材調達から完成まで一連の流れを監視し、各工程の生産性を改善・向上させています。また、工場

で働く全社員に対して、「我々の製品が世界中の大切な命に関わっている」という意識付けを常に行い、団結精神の強化も図っています。大切な製品を安定供給できる生産体制を皆と作り上げることにやりがいを感じています。



張 曉東の1日のスケジュール

- 8:00 出社(始業の30分前)
1日のスケジューリングとメールチェック
- 8:30 部内全体朝礼(15分～20分程度)
(社員心得を唱和、毎日1つ豆知識の紹介)
- 10:00 現場不良対策会議、生産性レビューなど
- 12:00 昼食
- 13:00 品質改善活動
- 15:00 生産性改善項目検討
- 17:10 退社



日本光電工業株式会社

東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560 ☎(03) 5996-8000(代表)

